

海潮温泉温浴施設整備方針（案）に対する パブリックコメント（意見募集）の実施結果について

平成 22 年 3 月 8 日（月）から平成 22 年 3 月 31 日（水）まで意見募集を行いました「海潮温泉温浴施設整備方針（案）」に対し、多くのご意見、ご提案をいただきありがとうございました。

みなさまからいただいたご意見・ご提案の概要と、それに対する市の考え方は以下のとおりです。

- 意見提出者 各種団体：2 団体
 市 民：82 人
 ※うち、77 件（2 団体、市民 75 人）が水中ウォーク機能の併設を求める意見でした。

	ご意見の内容	意見に対する市の考え
1	<p>温浴施設について、木造は当然であり、県産瓦を使用することも当然であると思う。肝心な内部施設と新入経路のバリアフリー化、高齢化が急速に進む現実にあわせ、予防医療への施設利用、ゼロエミッション、簡単なバイオボイラーシステムの導入などを考慮した施設が将来を見据えた施設と考える。財政難の折、最大の費用対効果を目指しながら速やかに進めていただきたい。</p>	<p>温浴施設の具体的な機能等については、今後も海潮温泉温浴施設整備検討委員会において検討いただきますが、検討委員会から提出された中間答申書にもある通り、木材を多用しつつ、高齢者等の利用を踏まえたバリアフリー化、維持管理コスト及び改修コストを見据えたシンプルな構造、設備を目指すとともに、環境に配慮した省資源システムの導入も検討していく考えです。</p>
2	<p>今回の 3 施設の統合は老朽化が原因とはいえ、時宜を得た統合であると言える。整備計画によって民間と競合する施設の設置を避けるべきという露天風呂・食堂等の方針には若干疑義がある。露天風呂、食堂、売店などの設置をしないということは、近隣の方のみの風呂場的発想であり、広範な多くの利用客は望めないものとする。</p> <p>温泉利用とは湯治であり、特に露天風呂については欠かせない施設であると思う。神話にまつわる石組み等の風景を造り、ゆったりと過ごす時間空間が欲しい。また、ゆったり過ごす中では食事は付きものであり、売店は目で楽しみ帰りに湯治のみやげ物を求めるのは利用客の心理であり、経済効果をもたらすものである。したがって、ゆったり休憩する客室について若干の個室と大広間、遊戯空間もあればベターではないか。</p> <p>民間と競合するという発想の前に、集客をどのようにすべきかが重要。</p> <p>温泉であり、温もりのある雰囲気施設となるよう望む。</p> <p>なお、静かな山峡にあるという海潮温泉のイメージを壊さない発想が必要であり、プールの環境はつくるべきでなく、雲南市の海潮温泉として他の施設との客層の差別化を図り、宿泊利用のある海潮温泉と共存を望む。</p>	<p>当然、施設を整備するからには如何に集客していくかが重要な課題となりますが、市内をはじめとして近隣に多数の温浴施設が存在する今日において、施設的に相当の差別化をしなければ近隣等からの多数の入り込みは期待できない状況です。</p> <p>また、あくまで市が整備する施設であるからには市民の利用を大前提とし、観光集客については副次的な効果と捉えるべきと、海潮温泉温浴施設整備検討委員会からも答申いただいております。良質、豊富な湯を活用した市民の健康増進施設を主眼においた施設として整備を行っていく考えです。</p> <p>さらに、湯治や癒しを目的とする広域からの観光客の受け入れは、既に民間温泉旅館で担っていただいている部分であり、民間事業者との役割分担も考慮することも必要と考えています。</p> <p>温浴施設の具体的な機能及び設備については、今後も検討委員会において検討いただきますが、海潮温泉の強みは何といても古来から湧き出る豊富で良質な湯であり、このお湯を十分に有効活用しつつ、市内の既存温浴施設との役割分担も考慮しながら、具体的に整備する機能を決定する考えです。</p>
3	<p>温浴のみではなく、水中ウォークのできる施設を併設してほしい。</p> <p>希望する施設は、心身ともに健康な者が自己の責任において、体力向上や高齢化に伴う機能低下を防止することを目的に、家族やグループで楽しく利用できるものである。</p> <p>医師の指示書が必要であるとか、専門の指導者が常駐する必要があるような施設については是非全市的に検討されることを望む。</p> <p>なお、水中ウォークをする者が指導を希望すれば、身体教育医学研究所の指導を受けた「指導員」が多数おられると聞いており、適宜ボランティアで協力いただけるとの話もある。</p>	<p>市の整備方針案においては、プールでの歩行や水中運動等を通じての身体機能の維持増進を図る施設については、全市的な観点から今後検討し、今回の海潮温泉温浴施設整備に関わっての整備は行わないとしておりましたが、地元等から強い設置要望がある中、検討委員会における協議においても、設計事業者等を交えた上で整備コストやランニングコストなどの検証を行いながら設置の可否について判断すべきとの意見も頂戴しております。今回整備する温浴施設の具体的な機能及び設備については、水中ウォーク機能を含め、検討委員会で継続して検討いただきます。</p> <p>なお、健康長寿のまちづくりを実現するための保健、医療、福祉が連携した複合施設の整備について、全市的な観点で今年度から調査・検討に着手することとしています。</p>
4	<p>あちらこちらに温泉施設ができていく今日において、他の地域からの誘客はそんなに望めない。現在の整備方針案において、他の施設と少しでも差別化を図るのであれば、サウナにテレビを設置してはどうか。近隣施設のほとんどがサウナ、水風呂を完備しており、少しでも集客を狙うのであれば高温サウナ、より冷たい水風呂は絶対必要。また、サウナの衛生管理を徹底してもらいたい。</p>	<p>温浴施設の具体的な機能及び設備については、今後も検討委員会において検討いただきますが、海潮温泉の強みである豊富で良質な湯を十分に有効活用しつつ、市内の既存温浴施設との役割分担も考慮しながら、具体的に整備する機能を決定する考えです。</p>

5	<p>食堂・特産品販売施設は民間との競合を避けるため設置しない方針とあるが、これまでも競合していた。民間からテナントで入ってもらえば済む話。温浴とセットで楽しむものであり、市民に安らぎを与えるもの。切り離すべきではない。</p>	<p>これまで食堂や特産品販売等の機能を有していたゆとりの里は、民間主導で整備された経過がありますが、今回の温浴施設整備はあくまで市が公共の施設として整備するものです。近隣に飲食施設が存在するにも関わらず、その民間施設と競合することを前提に飲食等の機能を設けることは避けるべきで、民間施設と連携した機能向上を図るべきと考えています。</p>
6	<p>①検討委員会における協議において、市の財政事情から1億5,000万円程度しかかけないと当初から分かっていたならば、もっと早い段階で検討委員会に対し提示し、予算と収支を頭に入れながら検討してもらったほうが良かったと感じる。</p> <p>②1億5,000万円の検討事業収支内容を市のHPに公開して欲しい。</p> <p>③整備方針案には経営主体が明記されていないが、市の直営と考えて良いか。</p> <p>④1億5,000万円程度の増改築工事で、余計なコストと時間がかかるプロポーザルなど必要ないと思う。</p> <p>⑤第2回検討委員会において、「海潮温泉と並行して走る主要地方道松江木次線は1日あたり1万台以上の車両が通過する。この人たちに来てもらえるよう魅力ある施設にしてほしい。」との意見が出ていたが、これ以降の検討委員会において、こういう資源をどうやって利用しようかと真剣に検討した跡も見られず、施設の中身ばかりに目がいつているのではないかと思う。こういった意見こそ、検討する価値が高い。</p> <p>⑥出雲國風土記などの壮大なテーマではなく、源泉掛け流しの良質な温泉とホテルの里という立派な資源を前面に押し出して、小さくこじんまりとしていても良いので、使い勝手が良く、リピーターが多くなるような施設して欲しい。</p> <p>⑦例えば、内部の照明器具等をホテル型の器具にして、尻尾のところをLEDの黄色で発行させ、ホテルの里のイメージを醸し出すような雰囲気施設の施設してほしい。</p>	<p>①1億5,000万円という投資額は、現在の市の財政状況など様々な要素を考慮した上で一定のラインとして提示したものです。検討委員会においてはこの投資額を踏まえつつ、具体的に整備する機能、設備等について今後も検討を継続いただくことにしています。</p> <p>②1億5,000万円の事業費内訳については、施設改修工事費（耐震化含む）、増築に伴う土地購入費、土地造成及び外構工事費、設計委託費等を想定していますが、現時点で内容を公開できるところまで至っておりません。</p> <p>③温浴施設の設置者は市となります。運営手法について、市としては直営ではなく指定管理者制度の導入が適切と考えておりますが、今後検討委員会においても検討いただく考えです。</p> <p>④今回の温浴施設整備にあたっては、市及び検討委員会と共同で設計作業を進めることのできる設計事業者を選定したいとの思いから、プロポーザル方式による設計事業者の選定を行うことにしました。</p> <p>⑤～⑦第6回検討委員会以降、市の整備方針案に関する論議が中心になった面がありますが、第8回検討委員会において既存の桂荘を活用した増改修による施設整備の方向性で確認をいただきましたので、今後設計事業者を選定し、具体的に整備する機能や設備について検討していくこととなります。</p> <p>いずれにしても、海潮温泉の強みは何といても古来から湧き出る豊富で良質な湯であり、このお湯を十分に有効活用しつつ、市民の皆様が愛され、多くの皆様にご利用いただける施設にするべく検討を継続する考えです。</p>
7	<p>①桂荘建物の南側、東側の公園等は景観や交通安全に配慮し、「公園」、「駐車場」、「出口専用道路」として整備してもらいたい。用地は地権者の意向を尊重し、寄付、代替農地の斡旋、買収等により取得すべき。現在の進入道路は「入口専用道路」とし、交通安全に配慮して欲しい。</p> <p>②ゆとりの里跡地は、元の農地に戻すことは経費的にも法的にも困難と思われるので、地権者の意向を尊重し、寄付、代替農地の斡旋、買収、譲渡等により周辺宅地の保全に努め、公的施設等の用地として活用してもらいたい。</p> <p>③ゲートボール場は将来屋根付きに整備して欲しい。他市町にも例があるが、海潮温泉利用者も増加すると思われる。駐車場は元の農地に戻すことは経費的にも法的にも困難と思われるので、代替農地の斡旋、買収等により、今までどおり駐車場として管理すべき。なお、公衆便所の使用は非常に多い。</p> <p>④桂荘は高齢者の利用が多いので、市道「新庄温泉線」の「ほっと大東」付近から「籾の上園」入口付近まで拡張整備し、交通安全に配慮して欲しい。現在、阿用地区横手谷地内が整備中なので、阿用、久野、西阿用、木次方面からの利用が便利になる。</p> <p>⑤設計、施工にあたっては、地域の皆さんに説明し、話し合いをして欲しい。</p>	<p>①現在の桂荘への進入路については、急こう配で見通しもあまりよくないと指摘もいただいておりますので、利用者の安全確保や利便性の向上などの観点から検討を要すると考えています。ただし、現在想定している事業費で対応することは困難であり、今回の整備方針とは切り離して検討する必要があるものと考えます。</p> <p>②～③市の施設整備方針案において、今回の施設整備及び閉鎖施設の解体・撤去により不要となる借地部分については返還を目指すとしておりますが、地権者の皆様との協議なしに一方的に返還を進めることはありません。これまで長期間借用させていただいてきた経過もありますので、地権者の皆様のご意向をお聞きしながら、借地の取り扱いを協議していく考えです。</p> <p>なお、ゲートボール場に屋根を整備する考えはありません。</p> <p>④今回の温浴施設整備に関連し、新庄温泉線の拡幅改良等を実施する考えはありません。</p> <p>⑤今後設計事業者を選定し、具体的な施設整備の一定の方向性が明確になった段階で、地域住民の皆様に対する説明をさせていただく機会を設ける考えです。</p>
8	<p>桂荘利用者58人に対し温浴施設整備に関わるアンケートを実施したので、その内容を今後の検討に活かしていただきたい。</p>	<p>温浴施設の具体的な機能、設備を検討する上で参考にさせていただきます。</p>